

# 高校・特別支援学校総会並びに講演会

部会長 上野 清文

(昭和 59 年養護学校教員養成課程卒業)

平成 29 年度の高校・特別支援学校部会総会は、平成 29 年 8 月 5 日(土)に、ホテルグランドパレス徳島にて、涇水会本部から秋山賢治副会長様をはじめ、毛利久康理事長様、総合科学部から栗栖聡学部長様のご臨席を賜るとともに、顧問の方々、高校・特別支援学校会員の皆様のご出席のもと盛大に開催をしました。

総会では、平成 28 年度の会務報告・決算報告の後、平成 29 年度の役員選出、会務計画・予算案についての審議を行いました。会務報告・決算報告・会務計画・予算案については、事務局提案のとおり承認されました。

平成 29 年度の役員については、現職の校長が副会長に、現職の副校長・教頭が監事に、退職された校長先生方を顧問に就任していただくことで了承されました。また、今回の総会において次期部会長として、徳島県立池田高等学校の竹内圭三校長先生を選出し、ご快諾いただきました。



総会の様子

また、総会終了後には、徳島大学大学院社会産業理工学研究部社会総合科学部域人間科学系心理学分野教授上岡義典先生を講師にお招きし、「発達障害の理解と良好なつきあい方」を演題に、ご講演をいただきました。



講師：上岡 義典先生

講演では、幼児から成人までの幅広い年代の発達障がい児者の特性や困難さ等を踏まえた適切な支援や関わり方等について、具体的な事例や資料等に基づいて、わかりやすく説明がありました。

はじめに、発達障がいの定義や法令（「改正発達障害者支援法」）等の基本的な内容について、次に、代表的な 3 つの発達障がい、「自閉症スペクトラム障害(ASD)」、「注意欠如／多動性障害(ADHD)」、「学習障害(LD)」の各特性（例えば、自閉症スペクトラム障害では、社会性の障害、コミュニケーションの障害、想像力(イマジネーション)の障害)や他の問題(感覚面や運動面)等について理解を図ったあと、適切な対応や関わり方のポイントについて説明がありました。

適切な対応では、心理学的アセスメント、多動・不注意・衝動性のコントロール、ルールの獲得、適切な薬物療法等が有効であること。

適切な関わり方では、視覚の活用、予定やスケジュールを示す、穏やか且つ簡単な表現ではなしかける等が大切であることの説明がありました。

また、講演の中で行った「ADHD 児の注意欠如」や「LD 児の苦手な読み」の疑似体験では、対象児の学習に対する困難さや自尊心の低下を招く要因等を体感することもできました。

最後に、発達障がいの大学生や成人に対して、周りにいる私たちができること(具体的な支援方法を検討することや丁寧に聞くこと等)についてご示唆をいただき、参加者からも数多くの質問が出る等、有意義な講演会となりました。

その後出席者全員で写真撮影をし、和やかな雰囲気の中で総会・講演会を閉じました。

事務局 徳島視覚・徳島聴覚支援学校校長  
会長 上野清文

次期会長 竹内圭三  
(徳島県立池田高校校長：昭和 57 年卒業)

## 総会・講演会・懇親会

日時 平成 29 年 8 月 5 日(土)  
場所 ホテル グランドパレス徳島  
講演会 講師：徳島大学大学院  
社会産業理工学研究部 社会総合科学部  
域人間科学系心理学分野  
教授 上岡 義典 氏

演題：「発達障害の理解と良好なつきあい方」